

令和 元年 7月30日

各大学長
各大学農学部長 殿
各大学工学部長
各関係機関長

弘前大学教育研究院自然科学系長
佐々木 長 市
(公印省略)

微生物化学分野助教の公募について（依頼）

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学系農学・生命科学領域では、下記要領により微生物化学分野の助教を公募することになりました。つきましては、関係各位に周知下さいますようお願い申し上げます。

なお、本件は、農学生命科学部ホームページの教員公募情報(<http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/stafflist/koubo/>)にも掲載しております。

記

1. 募集人員 助教1名（任期なし）
2. 所 属 自然科学系 農学・生命科学領域
3. 専任担当 農学生命科学部 分子生命科学科
4. 専門分野 微生物化学
5. 担当科目
学部：〔専任担当科目〕 遺伝子工学、分子生命科学演習、卒業研究
〔分担科目〕 専門英語、文献講読、分子生命科学実験Ⅰ、海外研修入門など
大学院：〔専任担当科目〕 専攻分野の担当科目、特別研究、特別演習
〔分担科目〕 研究方法論、実践研究推進セミナーなど
教養教育科目：スタディスキル導入科目、自然・科学科目群など
6. 応募資格 次の要件を満たす者
博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有し、研究および教育上の優れた能力を有すること。または、赴任時まで博士の学位を取得出来る見込みがあること。
7. 着任時期 令和2年4月1日（以降のできるだけ早い時期）
8. 選考方法
 - (1) 書類選考
 - (2) 候補者による発表（これまでの研究と今後の教育研究・社会貢献について）
 - (3) 候補者に対する面接
9. 提出書類
 - (1) 履歴書（高等学校卒業以後の履歴を記載したもの）
 - (2) 研究業績目録（業績の区分、記載方法については、ホームページを参照してください）
 - (3) 研究業績目録に記載された著書、原著論文、総説のうち主要なもの10編以内の別刷又はコピー
 - (4) (3)のうちの5編以内について、各編の学術的意義に関する簡潔な説明書
 - (5) 教育業績書
 - (6) 地域連携・社会貢献に係わる業績説明書
 - (7) 学会・社会における活動状況の説明書
（所属学会における活動及び公的機関の委員会専門委員などの社会における活動について記載してください）

(8) 従前の研究活動の特徴と今後の教育及び研究に対する抱負を述べたもの（それぞれ2,000字以内）

※必要書類中(1)、(2)、(5)、(6)は所定の様式に記載して下さい。

様式は、農学生命科学部のホームページからダウンロードして下さい。

書類に不備がある場合でもそれに基づいて審査が行われます。不備が多いのは研究業績目録です。記載の仕方に十分にご注意ください。

10. 応募期限 令和元年11月22日(金)(書類必着)期限を過ぎた応募は受けません。

11. 書類の提出先

〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地

弘前大学農学生命科学部 総務グループ(総務担当)宛

※封筒に「教員応募書類(微生物化学分野助教)在中」と朱書きし、簡易書留、レターパック、EMS、その他法令で認められる送付方法により、送付記録の残る方法で送付して下さい。

12. 問合せ先

〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地

弘前大学農学生命科学部 総務グループ(総務担当)

電話:(0172)39-3748、FAX:(0172)39-3750、E-mail:jm2745@hirosaki-u.ac.jp

備考

- (1) 分子生命科学科には、教育コースとして生命科学コース、及び応用生命コースの2コースがあります。今回の公募は、応用生命コースの教員補充に伴うものです。
- (2) 分子生命科学科は、化学・生命科学分野の基礎的・専門的知識を身につけ、食やエネルギー、地域の特色を活かした次世代有用資源の開発と利用に資する人材の育成に取り組んでいます。
- (3) 今回公募する教員には、新規な遺伝子資源・微生物資源の発掘と利用に関する研究経験を有し、それを生かしてグローバルな視点から農学及び地域に資する微生物化学の基礎的・専門的知識と技術をもった人材の教育と研究ができる方を望みます。また、研究成果の産業への応用に意欲のある方、及び大学院における専門科目の授業を英語でできる方を望みます。
- (4) 本学は、岩手大学大学院連合農学研究科の構成大学であり、採用者は連合農学研究科教員となる資格審査を経て博士課程の学生を指導することになります。
- (5) 選考の過程で面接や研究・教育・社会貢献に関する発表をお願いすることがあります。その場合、旅費は応募者の負担となります。
- (6) 採用後の給与については、年俸制(国立大学法人弘前大学年俸制適用職員給与規程)が適用となります(ただし、任期付きではありません)。
- (7) 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援策については、男女共同参画推進室ホームページ(<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>)をご覧ください。
- (8) 弘前大学では、外国人の方の積極的な応募をお待ちしております。
- (9) 弘前大学は全学的な教員組織として「教育研究院」を設置しています。教員は教育研究院に置かれるいずれかの学系に所属し、教育研究組織である学部、大学院研究科、附属病院などの専任担当として教育、研究、診療等の業務に従事することとなります。なお、必要に応じて他の教育研究組織の教育や業務、あるいは教員養成部門における教育を担当していただく場合があります。担当の授業科目が教職課程認定科目に相当する場合は、所属が「自然科学系 農学・生命科学領域」の他に、教員養成部門に所属することになります。
- (10) 応募書類により取得する個人情報、微生物化学分野助教候補者の選考及び採用時の人事、給与、福祉関係等必要な手続きにのみ利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。

以上